



みどり便り



第8号

発行年月:令和7年6月

千葉市 生活自立・仕事相談センター緑

～ 令和6年度事業概況 ～

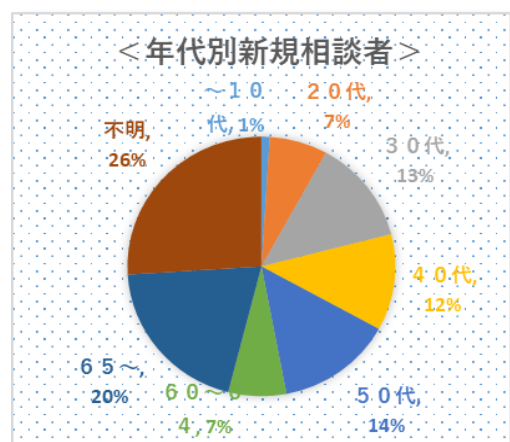
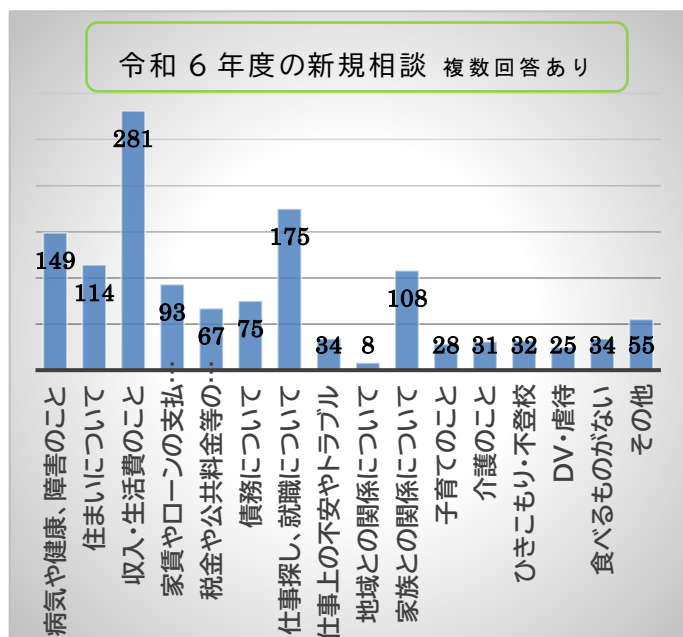
1. 令和6年度相談状況について

令和6年度の新規相談受付件数は545件となり、月平均45件のご相談をお受けしました。その相談は右グラフのように多岐に亘り、複合的な内容になっています。新規相談受付件数は毎年度増加傾向にあります。その中で、128件のプランを作成し本人に寄り添った支援を行いました。人材確保・育成に努めながらも、ワンストップで断らない支援に努めています。

相談延べ件数は、12,504件(月平均1,042件・52件/日)になりました。昨年度よりも相談対応が月平均70件増加しています。継続的な支援を要する相談者が多く、支援延べ件数も右肩上がりに増加している状況です。

相談者の年齢層は、20～64歳までの層が全体の50.7%となっています。50代、30代、40代の順に相談が多くなっています。65歳以上の高齢者からの相談も多い状況です。

関係機関からの紹介で相談に繋がることが多く、病気・障害、家族関係、ひきこもり・不登校、DVなどの課題も抱える相談者が多くなっています。家族全体への支援が必要であり、関係機関との連携は必須となっています。(長谷川 稔)



2. アウトリーチ支援の活動状況

令和6年度の特徴的な活動は、公営住宅住民に対するアウトリーチでした。県営住宅に関しては相談センターのチラシの全戸ポスティング活動に留まりましたが、市営住宅に関しては自治会との関係づくりから始まり、区内全団地で出張相談会を開催しました。あんしんケアセンターや家計改善事業者も参加しました。引き続き、潜在する困窮を顕在化する活動に取り組んでいきます。



ふるさと祭りにも参加

また、区内ファミリーマート様9店舗との協働によるフードドライブを開始しました。住民からの食料の寄贈⇒店舗

での回収⇒当センターの回収・選別・保管・生活困窮者への食料支援の仕組みです。この共助の仕組みがエシカル消費の啓発、そして新たな周知と相談に繋がることに期待します。(庄村 秀泰)

無料

千葉市 生活自立・仕事相談センター緑
千葉市 家計改善支援事業 出張相談

お仕事・家計・暮らしのこと なんでも相談会

会場:おゆみ野第二団地 集客室

日時
10月20日(日)
10時～12時

- 暮らしとお金の相談
- 人間関係などの悩み事
- 借金・滞納・家計の相談
- ひきこもり・不登校の相談
- お仕事探しの相談
- 障害のある方の相談

お申込み お問い合わせ
TEL 043-293-1133 (平日9:00～17:00)
MAIL: midori@npo-link.jp

事前予約制。1組/40分。個人情報は守秘いたします。
個別相談形式です。どんなことでもご相談ください。

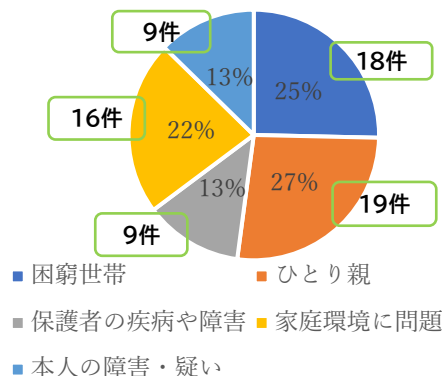
～ 令和6年度 子どもナビゲーターの活動状況 ～

令和6年度の新規相談件数は42件でした。子どもの生活習慣等の改善から貧困の連鎖を防止することを目的に、家庭等へ訪問し子どもの生活・学習習慣の改善を行い、保護者・家庭への支援も行っています。相談のあった子どもは、右グラフの通り家庭に何らかの問題を複数抱えています。経済的な問題だけでなく、保護者、家庭が様々な事情を抱え、養育や生活に影響が出ている子どもも少なくありません。

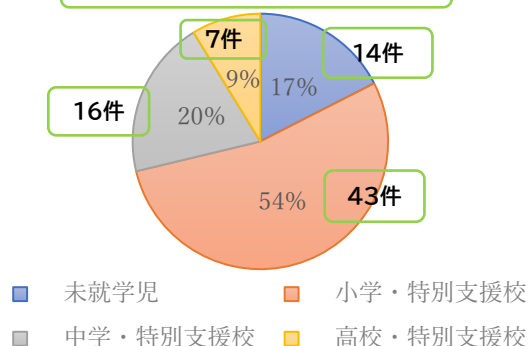
緑区で子どもナビゲーター事業が始まり2年経過した今日の延相談件数は80件に上っています。学業課程別の件数内訳は右グラフの通りです。基本的な生活・学習習慣が形成されないため、将来のことも考えられず、自己肯定感に欠ける子どもが見受けられます。信頼関係を構築しながら積極的に支援していきたいと思います。

子ども食堂や地域行事への参加を通じて、子どもや家庭へアプローチできる機会が増えました。令和7年度はこどもカフェへの協力など、さらに周知活動とアプローチの機会を増やしていきたいと思います。（鳥海 みづえ）

子どもをとりまく状況（新規42件の複合的状況）



学業課程別延べ相談件数



～ フードドライブをきっかけにした地域連携 ～

『「もったいない」を「ありがとう」に』がファミマフードドライブのスローガン。ご家庭に眠っている食品を寄贈いただき福祉団体やお困りの方へ届けています。ファミリーマート様の他、今年2月にはベイシア古市場店様とも取り組み始めました。地域の皆さまにご協力いただけるようになり、267.1kgもの食料品の回収ができました（令和6年7月～令和7年3月）。

回収させていただきました食料品は食べ物に困っている方や地域のこども食堂等の連携機関様へ提供しご活用いただいております。（大橋 瑛）



《新任職員紹介》 三井 士郎（みつい しろう）

本年4月より、当センターの相談支援員に着任しました。生活保護ケースワーカーの経験がありますが、今後さらに幅広い知識を身につけ、経験を積み、相談者の方々にしっかりと寄り添うことができる相談員になれるよう努力したいと思っています。当センターにお越しの際は、気軽にお声掛けください。180cmを超えるのっぽなのですぐに私を見つけられると思います。

《新任職員紹介》 江澤 ゆき江（えざわ ゆきえ）

前職はあんしんケアセンターの生活支援コーディネーターでした。高齢者がその人らしく住み慣れた地域でいつまでも生活できるよう、行政や他機関、民間企業などと一緒に地域に働きかける活動をしていました。これからは生活自立・仕事相談センターの相談員という未経験分野の仕事になりますが、初心を忘れず謙虚に皆さんの困りごとに関わって行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



◇ 千葉市生活自立・仕事相談センター緑 ◇

◇ 千葉市緑区鎌取町 226-1 緑保健福祉センター2階 (TEL:043-293-1133, FAX:043-291-1899)

◇ e-mail: midori@npo-link.jp 編集：庄村秀泰 発行責任者：吉井 稔

